

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-27

## 甲第六十九号

---

(発行年 / Year)

1910

キハ裁判所ハ管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續權ヲ有スル者ハ一定ノ期間内ニ之ヲ主張スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ六ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス

(參照)取三四八二十三年非訟事件手續法一三乃至一六條七六八乃至七七二、關一一七五、グワウロヒュンデン四八二、獨一草二〇六七、同二草一八四一

第一千六十條 前條ノ期間内ニ相續權ヲ主張スル者ナキトキハ相續財産ハ國庫ニ歸屬ス此場合ニ於テハ第一千五百十八條ノ規定ヲ準用ス

相續債權者及ヒ受遺者ハ國庫ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得ス

(參照)取三一五、三一六、三四八二十三年非訟事件手續法一七佛七七六乃至七七〇、八一三末、文澳七六〇、關一一七五、伊七五八、葡二〇〇六乃至二〇〇八、グワウロヒュンデン四九九、グユリ、ロ九〇六、九〇七、西九五六乃至九五八、白草七九五、七九六、獨一草二〇六七、四項同二草一八四一、普二部十六、章二五二、六、索二六二〇



# 甲第六十九號

明治二十九年十月三日配付

## 第六章 遺言

### 第一節 總則

第一千六十一條 遺言ハ本法ニ定メタル方式ニ從ヒテノミ之ヲ爲スコトヲ得

(參照)取三六八、佛一〇〇一、澳六〇一、關一〇〇〇、伊八〇四、八三五、葡一七四〇、西六七〇、白草八一三、獨二〇三九、同一草一九一一、同二草一九三七、普國法一部一、二、章六六、索二〇六四、二二〇三乃至二二〇九

第一千六十二條 滿十五年ニ達シタル者ハ遺言ヲ爲スコトヲ得

(參照)四、喪葬令若亡人存日處分條法曹至要鈔處分任財主意事條取三五七、佛九〇三、九〇四、澳五六九、千八百七十一年七月二十五日法、關九四四、九四五、伊七六三、一號、グワウロヒュンデン五〇二、フューリヒ九九三、葡一七六三、一七六四、三號、西六六二、六六三、一號、六六六、白草七五三、獨二二〇三、同一草一

九一二同二章二〇九七普通法一部二一章一六索二〇六六  
英 F. WILLIAMS, FIVE C. 等ヲ紐草五四二五四三加一二七〇印度  
相續法四六

第一千六十三條 第四條第九條第十二條及ヒ第十四條ノ規  
定ハ遺言ニハ之ヲ適用セス

(參照) グラフブユンデ 五〇二、フューリヒ 九九三、九九四、  
一七四〇、西六七〇、獨二〇二、同一章一九一、二二同二章二〇  
九七、索二〇六六乃至二〇七二、印度相續法四六

第一千六十四條 遺言者ハ遺言ヲ爲ス時ニ於テ能力者タル  
コトヲ要ス

(參照) 佛九〇一九〇六、澳五七五五七六、蘭九四五四六、伊七  
六三、一項三號七六四、ヴォー五六〇五六八、グラフブユンデ  
五〇二、三項フューリヒ 九九三、葡一七六五一七七、八四六  
六四六六六、白草七五四七五五、索二〇七三

第一千六十五條 第九百七十五條及ヒ第九百七十六條第二  
號乃至第六號ノ規定ハ受遺者ニ之ヲ準用ス

(參照) 一七二〇九九、三人二佛七二五七二七九〇六、澳二二五

三八五四〇乃至五四四、蘭三八八五、九四六、九五九、伊七二四  
七二五七六四、ヴォー 五一四五六八、グラフブユンデ 五三三  
項四七三、フューリヒ 九九八、八九〇、八九〇九、ベルン一〇、フ  
ロータルン一三、ルーツェルン一〇、フライブルグ一、二、葡一  
七七六一、七八二一九七、八四六、七二、四四、七五六七五七、白  
草七四五七五五、獨一八九九、二、三、二、同一章一七五八、一  
六四二〇、四五同二章一八〇〇、二二〇四、普通法一部九章三  
七、一、三、五、同一部二、章五九九六、二〇、索二〇〇八、二二〇  
七乃至二二八〇、紐草一、二、加二、一、ローウエ、カナダ、六一〇

第一千六十六條 被後見人カ後見人又ハ其配偶者若クハ直  
系卑屬ノ利益ト爲ルヘキ遺言ヲ爲シタルトキハ其遺言  
ハ無効トス但後見ノ計算ノ終ハリタル後ハ此限ニ在  
ル

前項ノ規定ハ直系ノ血族配偶者又ハ兄弟姉妹カ後見人  
タル場合ニハ之ヲ適用セス  
(參照) 佛九〇七、蘭九五二、伊七六九、ヴォー 五六九、葡一七六七  
四七五三、白草七五七